

2026年7月30日
株式会社ワークスアプリケーションズ

ワークスアプリケーションズ、第31期全社キックオフを開催 知識の循環とAIネイティブ化で、業界をリードし答えとなる企業へ

株式会社ワークスアプリケーションズ(本社:東京都千代田区、代表取締役CEO:秦修、以下 WAP)は、2026年7月に全社キックオフイベントを開催しました。代表の秦は、節目である第30期を「大きな成果とともに、次なる飛躍への手応えと課題を得た1年」と総括。第31期に向けては「知識の循環とAIネイティブを加速させることで、再びお客様の答えになる」と宣言しました。



全国から約500名が集結し、次なるステージへ挑む共通意識を醸成

キックオフには、大阪や名古屋など全国の社員*総勢約500名が都内の会場に集結しました。全国の社員が1つの会場で直接顔を合わせることで、WAPとしての一体感を改めて実感するとともに、第31期のテーマや想いに対する理解を深め、全社一丸となって次なるステージへ挑む強固な共通意識を作り上げました。

*熊本オフィスのみ別日開催

「AIネイティブ化」で事業構造を抜本改革

秦は、第30期を「顧客基盤の拡大に伴い、売上や活動量で大きな成果を上げた一方で、さらなる拡大に向けた構造改革の重要性を再認識した1年」とまとめました。第31期は「事業の質を『シンカ』」させることを最優先テーマに設定。「AIを前提とした業務プロセスの再設計や知識の循環を軸に、プロダクトの真の価値追求、サービスの新たな価値提供、アカウントエンゲージメントの深化、事業基盤のAIネイティブ化への進化を進め、事業構造の抜本的な改革を成し遂げる」と力強い決意を伝えました。

業界をリードし、お客様の答えになる存在へ

第31期のWAPは、これまでの延長線上にある成長にとどまらず、自らの手でシステムと組織の壁を打ち破り、更なる飛躍を目指してまいります。AIという新たな武器と、長年培ってきた業務ノウハウを掛け合わせることで、企業と個の価値を最大化する「成長エンジン」として、再びお客様の答えになる企業へと進化してまいります。

【ワークスアプリケーションズについて】

ワークスアプリケーションズは、1996年に日本発のERPパッケージベンダーとして創業。ノーカスタマイズや無償バージョンアップなど革新的なソリューションで、国内大手企業を中心にお客様の成長を支援してきました。個が持つ可能性を信じ、企業と個の価値を最大化する「成長エンジン」となることを目指し、「作業」を「創造」に変え、「仕事」を楽しくすることを追求していきます。

株式会社ワークスアプリケーションズ サイト <https://www.worksap.co.jp/>

*会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

*本リリースに掲載された内容は発表日現在のものであり、予告なく変更または撤回される場合があります。また、本リリースに掲載された予測や将来の見通しなどに関する情報は不確実なものであり、実際に生じる結果と異なる場合がありますので、予めご了承ください。

■本件に関するお問い合わせ先

TEL:03-3512-1400 FAX:03-3512-1401 Email:pr@worksap.co.jp

株式会社ワークスアプリケーションズ 広報担当